インスリンポンプ・持続グルコース測定器は磁気の影響を受ける可能性があります。検査前に必ず取り外しをお願いいたします。

インスリンポンプ

ミニメド620G/640G インスリンポンプ
日本メドトロニック㈱

パラダイムインスリンポンプ 712/722
日本メドトロニック㈱

メディセーフウィズ
テルモ(株)

TOP-8200
㈱トップ

持続グルコース測定器(CGM/FGM)

ミニメド620G/640Gトランスミッタ ガーディアンコネクト iPro2
日本メドトロニック㈱

Dexcom G4 PLUTINUMシステム
テルモ(株)

FreeStyleリブレセンサー FreeStyleリブレ Proセンサー
アボットジャパン(同)

取り外しが必要なもの

療法	製品名	装着・携帯しているもの	X線	CT	MRI
インスリンポンプ	ミニメド620G/640Gインスリンポンプ パラダイムインスリンポンプ712/722	注入セット	必要なし	必要なし	必要なし
		ポンプ本体	必要	必要	必要
	メディセーフウィズ	注入セット(パッチ)	必要	必要	必要
		ポンプ	必要	必要	必要
	TOP-8200	注入セット	必要なし	必要なし	必要
		ポンプ本体	必要	必要	必要
CGM/FGM	ミニメド620G/640G トランスミッタ ガーディアンコネクト iPro2	トランスミッタ・レコーダー	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	Dexcom G4 PLUTINUMシステム	トランスミッタ	必要	必要	必要
		センサー	必要	必要	必要
	FreeStyleリブレセンサー FreeStyleリブレ Proセンサー	センサー	必要	必要	必要

各製品の使用方法については各社コールセンターまでお問い合わせください。

日本メドトロニック株式会社　日本メドトロニック24時間サポートライン　TEL：0120-56-32-56 受付時間24時間365日

テルモ株式会社　テルモ・コールセンター TE：0120-76-8150　CGM・血糖測定システム等　24時間365日受付
TEL：0120-84-1214　インスリンポンプ専用　24時間365日受付

株式会社トップ　TEL：03-3882-7741 月曜～金曜8:30～17:30(祝日・会社休日を除く)
※お問い合わせは医療従事者の方に限らせていただきます。

アボットジャパン合同会社　お客様相談窓口:0120-37-8055　受付時間:【月曜～金曜】8:00-20:00、【祝日】8:00-17:00
お客様相談窓口メールアドレス(常時受付):adc-cs.jp@abbott.com

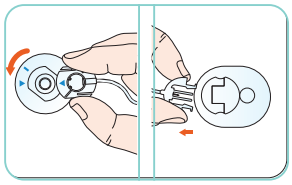
公益社団法人 日本糖尿病協会
JADEC Japan Association for Diabetes Education and Care

2020年5月改訂版

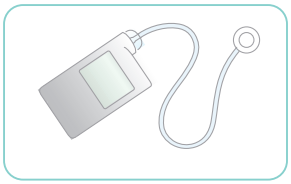
取り外し方法

インスリンポンプ

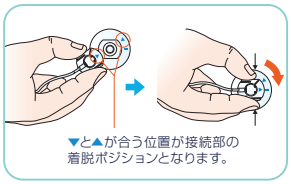
ミニメド620G/640Gインスリンポンプ パラダイムインスリンポンプ712/722



① 注入セットからチューブを取り外します。

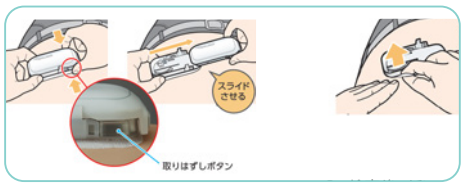


② ポンプとチューブを体から取り外し、清潔な場所に保管します。



③ 検査後、再びチューブを取り付けます。

メディセーフウィズ

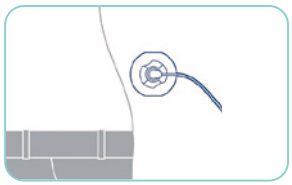


① ポンプをパッチから取り外した後、パッチを体からはがします。

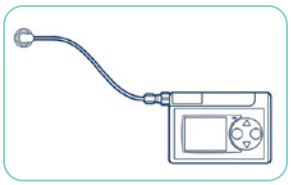
② ポンプを清潔な場所に保管します。

③ 検査後、新しいパッチを取り付けます。

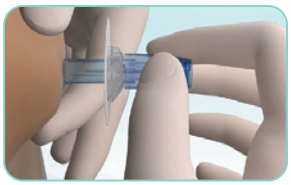
TOP-8200



① 注入セットからチューブを取り外します。



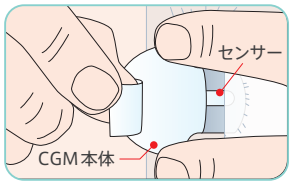
② ポンプを体から取り外し、保管します。



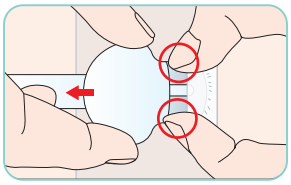
③ 検査後、新しい注入セットを取り付けます。

持続グルコース測定器（CGM/FGM）

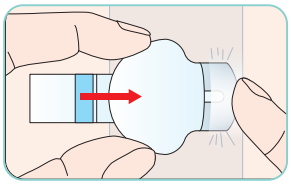
ミニメド620G/640Gトランスミッタ ガーディアンコネクト、iPro2



① 粘着タブをCGM本体から慎重に外します。



② センサーからCGM本体を取り外した後、センサーをそっとはがします。

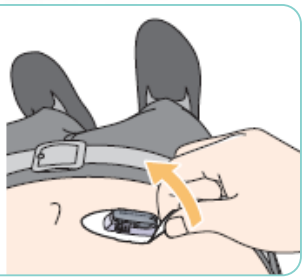


③ 検査後、新しいセンサーを装着し、CGM本体をセンサーに取り付けます。

Dexcom G4 PLUTINUM システム

粘着パッドを
皮膚からはがします。

［注意］
センサーが皮膚に付いている
状態でトランスミッターを
センサーから外さないこと。



FreeStyleリブレセンサー FreeStyleリブレ Proセンサー

［注意］
※ センサーには装着期間中の 測定データが保存されています。
取り外したセンサーの取り扱いについては、
かかりつけの医療機関にご相談ください。
※ 新しいセンサーの装着についても
かかりつけの医療機関にご相談ください。

FreeStyleリブレセンサー

① センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。

② 検査後、新しいセンサーを装着し、起動します。

FreeStyleリブレ Proセンサー

センサーの粘着部の端を引き上げて、一回の動作で皮膚からゆっくりとはがします。